令和3年3月（第1回）岩倉市議会定例会 代表質問

鬼頭 博和 議員

1 一期4年間の市政運営で、さまざまな実績を残されてきましたが、やり残したことや、うまく進めることができなかった事業もあると思います。それらの中で、今期4年間で進めていきたい主な事業はどのようなものか具体例をお聞かせください。

2 新型コロナウイルス感染症対策について

(1) 新型コロナウイルスワクチンの接種については、医療従事者に続いて、一般の市民では、65歳以上の高齢者から始まります。特に集団接種についてはスムーズな接種体制を整える必要があると考えますが、現時点で主にどのような点について対策をお考えですか。

(2) 本市で新型コロナウイルス感染症に罹患した方は、すでに150人近くに達していますが、そのほとんどが軽傷や症状なしなどで、自宅療養していると考えられます。そのような方々への支援については十分行われているのでしょうか。また、コロナウイルス感染者やその家族への差別を防ぐ啓発活動を行って下さい。

(3) 新型コロナウイルス感染症対策として、市役所などの公共施設に、サーモグラフィ装置を設置し非接触で温度を測定することは、施設内感染や集団感染を防ぐ効果があります。また、施設利用者の安心感にもつながると考えますが、いかがお考えでしょうか。

(4) 新型コロナウイルス感染症対策では若者の行動変容がカギとなります。映像や、SNSを用いた行動変容を呼び掛ける施策を行ってはどのようにでしょうか？

3 1つ目の柱「子育て・教育環境の充実したまち」について

(1) 教育のデジタル化については、来年度から全小中学校にタブレット端末が導入されますが、教師が自信をもってICT教材を用いた授業ができるよう、ICT支援員が配置されると思いますが、岩倉市には何人の方が配置されどのような形で研修やアドバイスが行われますか。

(2) コロナ禍をきっかけに少人数学級への転換が求められています。文科省も本格的に小学校の35人学級に向けて改革に取り組む姿勢です。愛知県も来年度は小学3年生まで35人学級を拡充するよう進めているところですが、本市の取組はどのようにか。

(3)「子どもや子育て世帯に寄り添う伴走型の支援策を進める」とありますが、どのような支援策を考えていますか。特に、ひとり親世帯に対する具体的な支援はお考えでしょうか。

(4)地域に根差した特色ある学校づくりでは、具体的にどのような学校づくりをイメージされているのでしょうか。

(5)全ての小学校に放課後児童クラブが設置されることとなりますが、放課後子ども教室との一体的な利用に向けた取組についてはどのような方向性ですか。一部の小学校で試行的に始める予定はあるのか。

4 2つ目の柱「健幸で安心して暮らせる安全なまち」

(1)市民一人ひとりの心身の健康増進を支援するためにコロナ禍の中で、対面によらないオンラインで、顔の見える形での健康や育児相談ができる体制を整えることも重要と考えますが、この点についていかがお考えでしょうか。

(2)生活道路の交通環境整備については、高齢者や障がい者も安心して通行できるようバリアフリーに向けた取組はどのようなか。

(3)持続性の高い魅力ある地域活動の環境づくりでは、の地域コミュニティによる防災対策を中心に、自主防災組織の育成が重要となります。行政は積極的に住民の方々と協働しながら地域のつながりをさらに強めていく具体的な取組が必要であると考えますが、このことについて、どのようにお考えですか。

5 3つ目の柱「活気あふれる伸びゆくまち」

(1)桜通線の用地取得率は令和2年度で約56%との事ですが、整備促進やお祭り広場を中心としたにぎわいの創出について現時点で具体的にどのような内容をお考えか。

(2)農業振興の取組については、人手不足を補うためにも農業分野における障がい者就労の促進といった農福連携が必要と考えますが、どのようにお考えでしょうか。

6 4つ目の柱「清潔で地球にやさしいまち」

(1)清潔で地球環境にやさしいまちへの取組では、プラごみや食品ロス削減が重要と考えます。まず、市民や事業者に向けた啓発を具体的に進めて頂きたい。ま

た、子どもたちへのプラごみや食品ロス削減に向けた環境学習についても必要ではないでしょうか。このような取組についてはどのようにお考えか。

75 目目の柱「持続可能なまち」

(1)SDGs という言葉は知っていても、内容まで理解している人は意外に少ない。市民向けの認知度向上に向けた取組はできないか。

(2)SDGs 未来都市に選定されているような自治体を参考に、岩倉市が第 5 次総合計画で取組むマルチパートナーシップによるまちづくりにつながる取組を行ってはどうか。

8 令和 3 年度予算案について

(1)総務費

①コロナ禍により市税は大幅に減少することが見込まれており、それに伴って臨時財政対策債を含んだ市債は前年比 12.2%増の 9 億 6180 万となっている。将来負担比率の増加に対する今後の方針はどのようなか。

(2)民生費

①後期高齢者を対象とした健康診査について、新規事業として人間ドックの費用 1 万円助成が始まります。国保加入者の 40 歳から 74 歳までも同様の助成が受けられますが、知らない方も多く周知に工夫が必要と考えます。集団健診の密を避けるためにもしっかり行ってほしい。

②保育環境の整備では、トイレ改修や、私立保育園の施設に対する補助といったハード面だけでなく、保育人材の確保も必要です。処遇改善の取組など、どのような対応をお考えか。

(3)衛生費

①歯科健康診査の実施が 80 歳になる方にまで拡大されます。口腔機能の低下は、フレイルにつながります。早めに発見して適切な対応をとることで全身の健康を保持できます。この取組は今後も継続していただきたいと思います。また、人数の見込みが少ないように感じますが、どのように見込みを立てていらっしゃいますか。

②地球温暖化対策の取組については、現在どのような取組が行われていますか。また、今後の新たな取組についてはどのようなか。例えば、公用車の電気自動車へ

の転換についてはどのようなか。

③中小企業・小規模企業振興基本条例が策定されましたが、昨年はコロナ禍により、深刻な経営不振に陥っている事業者も多いのではないのでしょうか。地域産業を活性化し発展させるためには、ビジネスサポートセンターの役割がポイントとなります。利用促進につながる取組についてはどのようなか。

(4) 土木費

①ウオーキングのための五条川健幸ロードが整備され、多くの市民が利用できるようになりましたが、南部中学から下流の五条川については整備が進んでいません。五条川下流の整備についてはどのような計画をお考えか。

(5) 教育費

①中学校において、テスト期間中のトワイライト学習が始まりますが、特に南部中学校は外国人の生徒も多く学習に不安のある生徒もいるようです。今後はこのような外国人生徒の学習支援も必要ではないか。

②下田南遺跡の発掘調査が今年度終了し、次年度は出土品の整理作業、報告書の作成が行われますが、貴重な出土品などを展示する場所が少ない状況です。市の公共施設を使って期間を決め展示、公開をおこなってはどうか。

(6) 上水道事業

①50周年記念事業として、「いわくらしや水」の製造、販売が行われますが、岩倉市のシティープロモーションとして、来年以降も継続事業として行ってはどうでしょうか。